

## 会議録（１）

会議の名称	第２回飯能市山間地域振興審議会
開催日時	令和４年１月２９日（火） 開会 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">後</span> １時３０分 閉会 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">後</span> ２時５０分
開催場所	飯能市富士見地区行政センター 第２会議室
議長氏名	熊 田 俊 郎
出席委員	熊 田 俊 郎 ・ 木 崎 稔 生 ・ 栗 原 典 夫 青 木 茂 ・ 町 田 靖 ・ 大 野 康 中 村 晶 代 ・ 影 山 理 恵
欠席委員	加 藤 孝 雄
説明者の 職氏名	市民生活部長 細田幸二 市民生活部参事兼市民協働推進課長 大橋はるか 市民協働推進課地区行政センター管理担当課長 岡野晴男
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職氏名	市民協働推進課地区行政センター管理担当課長 兼富士見地区行政センター所長 岡野晴男 主査 石澤育代

## 会議録（２）

### 議事の概要（経過）・決定事項

#### 1 審議事項

- （１）第４次飯能市山間地域振興計画（素案）について（公開）  
別紙のとおり
- （２）その他（公開）

### 会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
参事	<p>定刻になりましたので、開始いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本会議は全て公開となっておりますが、現時点では傍聴者の申し出はないことをご報告いたします。</p> <p>定足数に足りておりますので、ただ今から、第2回飯能市山間地域振興審議会を開催させていただきます。</p> <p>はじめに、熊田会長からごあいさつをお願いします。</p>
会長	<p>素案もかなり具体的になってきました。委員の方々の忌憚のない意見ををお願いします。</p>
参事	<p>本日の会議につきましては、概ね1時間程度を予定しています。</p> <p>それでは、これよりの議事の進行は、審議会条例第6条により、会長に議長をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、これより議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をよろしくをお願いいたします。</p> <p>はじめに(1)「第4次飯能市山間地域振興計画策定方針(案)について」を議題といたします。</p> <p>それでは事務局より説明をお願いします。</p>
課長	<p>それでは、第4次飯能市山間地域振興計画(素案)について説明します。</p> <p>まず、素案4ページをご覧ください。</p> <p>(資料により説明)</p> <p>説明は以上です。</p>
会長	<p>何かご質問はございますか。</p>
委員	<p>29ページからの内容は、行政について書かれたものですね。</p>
課長	<p>はい、そうです。</p>
委員	<p>14ページの(5)目標指標の中で、山間5地区の定住意向調査の調査対象の年齢はわかりますか。30～40代の方が生まれた家に住もうという気になるのか状況を知りたいです。</p>
参事	<p>この市民意識調査は、総合振興計画策定時に毎回行っている調査で、住民基本台帳に登録している市民で、無作為抽出された18歳以上の2,000人に対して行った調査です。</p>
委員	<p>若年層が山間地域に住みたいのかが知りたいのですが、年齢構成で分析</p>

	してありますか。
部長	調査の回収数は741票、約40%の回収率となっております。地区別、年齢別など企画課が分析をしていると思います。
委員	<p>今回の素案は、前回の審議会、地区別懇談会で出た意見をうまく集約してあると思います。</p> <p>3点あるのですが、素案9ページ、令和3、4年度の名栗地区の交流人口が33万人と記されているが、実感があまりありません。どのように集計されたのでしょうか。</p> <p>計画書なので、5地区の意見の表現を同じ意味ならそろえた方がいいと思います。</p> <p>行政が担当する部分と、市民と行政が一緒に行う部分は分けたほうがわかりやすいという意見を伝えていたが、今回のものはそれが反映されており、とてもわかりやすいです。</p>
参事	名栗地区の交流人口のカウントについては、市の観光・エコツーリズム推進課が、地区の数か所のポイントで入込観光客数の調査を行っており、その結果、交流人口が増加しているという結果が出ています。
部長	名栗地区の各ポイントでの調査の人数を積み上げたものがこの人数となっております。
委員	新型コロナウイルス流行の交流人口の影響はありましたか。
参事	飯能市全体では、平成28年から令和元年にかけて交流人口が伸びましたが、新型コロナウイルス流行により令和2年は落ち込みました。そのような中でも令和3年は密を避け、アウトドア志向が強まってきたり、あるいはノーラ名栗ができたことなどにより名栗地区と併せ、飯能市全体でも交流人口が増えてきています。
課長	地区別の表現の件は、地区別懇談会で少しずつ表現が異なっていたので、そのままの形で書かれています。
部長	各地区館で作業を行っていたことが多かったので、表現が揃っていない箇所があります。ご意見をいただいたので、揃えられる部分については揃えていきたいと思います。
委員	コロナ禍以前、自分の自治会では世帯は減少傾向だったが、今年になって30代の人々が3世帯増加しています。
委員	32ページの森林づくりについて。飯能市の75%は森林であるが荒れ放題であり、森林文化都市として、林業の再生をどのように盛り込んでいくかが問題ではないでしょうか。地区懇談会でも発言しましたが、若者は、林業で生活できないなら就職をとお考えるのだと思います。この3年間という計画の中で、林業を再生させるために事業者・山林所有者・市民等がこの

	<p>状況を共有するためにはどうしたらいいか、市ではどのように考えていますか。</p>
部長	<p>現在森林づくり推進課が市の森林整備計画を策定中です。この計画は10年毎の計画で、5年毎に見直しを行いつつ計画を進めていくものになります。今回の山間地域振興計画の中では林業再生と表現はしていますが、森林の整備については、この森林整備計画の中で進めているので、今回の山間地域振興計画の中では、要点部分についてのみ触れています。</p>
委員	<p>森林を景観として捉えてもらっているのはありがたいです。森林とは林業関係だけではなく、観光客や、多感な子供たちの心の中にこの地区の風景が心に残り、100人中わずか数名でも、いつか故郷に戻ってくるきっかけになればと思っています。</p> <p>小さい頃からここに住んでいる高齢者は住み続けたところで最期を迎えたいという気持ちがあります。基幹型の福祉センターの下に4つの包括支援センターがありますが、その拠点それぞれが、町中と山間地域をそれぞれ抱え、担当する山間地域の問題を抱えています。山間地域専門の拠点をつくっても効率的ではありません。そこに地域住民の力や支え合いが必要だと考えます。素案にコミュニティソーシャルワーカーや福祉センター、地域推進組織の文言が入っているのはとてもいいと思います。</p>
課長	<p>行政編は庁内策定委員会の関係各課の取り組む方向性や取り組んでいる事業などをまとめて書いた部分です。ご意見を参考に、福祉関係課へ相談させていただきます。</p>
委員	<p>5ページ、SDGsの達成との関連性について。第4次で新しく記載されたと思うが、具体的にこの5項目が総合振興計画の中でどのように位置づけられ、どのように山間地域振興計画に盛り込まれているが、説明をお願いします。</p>
課長	<p>持続可能な開発目標 SDGs の達成との関連性とのことですが、総合振興計画で山間地域の持続的活性化と絡めております。自治会やまちづくり推進委員会、地域福祉組織など、様々な地域の方が主体となって取り組んでいく必要があることから「8番生きがいも経済成長も」、「9番産業と技術革新の基盤を作ろう」「11番住み続けられるまちづくりを」、「15番陸の豊かさを守ろう」「17番パートナーシップ」というこれらの目標を達成していこうということで取り上げたということです。</p>
委員	<p>15ページの表の中の「脅威」、「大規模開発による人為災害の発生や生活環境の悪化」についてですが、地域振興に開発は大変重要だとは思いますが、この計画を中・山間地域を守るようなSDGsの取り組みにできないかと思います。</p>
委員	<p>各地区の未給水地域は、飯能市全体ではどれくらいの件数があるのですか。</p>

部長	担当外なのではっきりとした数字はわかりませんが、各地域に存在しています。
委員	山間地域は、地区別計画の「地域課題の主な取り組み」に未給水地域があるというのが目につきます。現在は、各自水を確保するための工事を行った際には、補助金として8割支給されているのですが、やはり下から上水道を引くのは費用対効果としては難しいのでしょうか。
部長	未給水地に水道管を引くには莫大な経費がかかり、解決にはどうしても難しいところでございます。昨年度から未給水地域の方々の各個人や団体が水を引くための工事の補助金の増額や、水質検査の費用の年1回から複数回への増額など、未給水地域への補助金の仕組みと額の増額をさせていただいております。
委員	3ページの(2)山間を取り巻く新たな状況のところに出ていた「テレワークの導入」ですが、そういう理由で移住した人が存在するという、地区の懇談会で出た言葉でしょうか。
委員	先程お話しした名栗の4件の増加の中、2件はテレワーク世帯です。
委員	飯能市は山間地域も市全体が光回線なので可能なのですね。
部長	南高麗の「飯能住まい」は移住者が60世帯ありました。市の通信環境がいいからでしょうか、30~40人が若者です。小学校が複式学級から学年ずつになりました。 「飯能住まい」につきましても、農のある暮らしということで進めたものですから、リタイヤされた60代以上の方が多く転入されてくるのではと想像してましたが、結果、比較的30代、40代の方が多く、子供連れの世帯の方が多く転入していただきましたので、小学校でも複式学級が解消される状況が起きました。
委員	市内や入間、狭山が多いと聞いていましたが、どこから移住してこられたかはわかりますか。
部長	近隣市のほか、都内からは練馬区がかなり多くなっております。
委員	現在"農ある暮らし"飯能住まいの対象は、南高麗だけですか。
部長	はい、そうです。
委員	山間5地区は本当に規模が小さいので、「飯能住まい」制度を家とセットでやるなら、より活性化するのではないかという気がします。
部長	担当課に話をしてみます。
会長	そろそろ意見も出尽くした頃と思います。素案を承認したいと思います

<p>会長</p> <p>参事</p> <p>課長</p> <p>参事</p> <p>参事</p> <p>副会長</p>	<p>がよろしいでしょうか。</p> <p>（「異議なし」の声あり）</p> <p>それでは以上を持ちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局へお返しいたします。</p> <p>4、その他になりますが、事務局からお知らせいたします。</p> <p>今後のスケジュールについてご説明いたします。12月1日から12月20日までパブリックコメントを予定しております。市内17か所で行います。また、次回第3回目の審議会でございますが、1月後半から2月に予定しております。次回の審議会では、答申案について検討していただく予定でございます。</p> <p>今のことにつきまして何かご質問はございますでしょうか。</p> <p>（「なし」の声あり）</p> <p>それでは委員の皆様から何かございますか。</p> <p>（なしの声あり）</p> <p>それでは閉会のあいさつをお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第2回飯能市山間地域振興審議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和 5年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p>	